

#09_家出少女の愛し方。

「はあ、はあ…ふう…ふわあ…」

「ごめん…眠くなってきちゃった…はあ…」

「んう…それにしばらく動けそうにないわ…」

「ん、どこかの誰かに、たくさんイカされちゃったから…ね…体力もつきたっていうか？」

「…なんてね。私もして欲しかった事だから…あんただけの責任じゃないよ」

「はふう…でも本当、動けないわ…もう、勝手に出ていくこともできなさそう…」

「なんて…もうそんな事、しないけど」

「当然でしょ」

「せっかく見つけた居場所を…捨てるわけないし」

「あんたを置いてくなんて、できるわけないって」

「ん…」

「人を愛するってことが…どういうことか…」

「教えてくれた恩人なわけだし…？」

「そんな大切な人を、置いていけるわけ…ないよ」

「ふう…はあ、それに、今度は私も、恩返ししなくちゃ…だしね」

「ん…見返りとかじゃなくて、恩返し…」

「私がしたいから、するの…」

「多分…一生かけて…ね」

「だから…さ…」

「これから、ずっと、ずーっと一緒に…いてね？」

「そうじゃないと、恩返し…できないし」

「ずっと…ずーっと…」

「お願いね…」

「約束…」

「ん…ありがと♡」

「じゃあ、とりあえず寝ようか…？」

「また明日も、ずーっと一緒にいられるわけだから…」

「今は、寝たほうが…いいよね？」

「ん…じゃあ…」

「んう…ちゅっ♡」

「えへへ…」

「…ん、おやすみ♡」